

1 開催概要

日 時：令和3年9月21日（火）13:30～15:15

場 所：オンライン開催

参加者：廣井座長、漆畑委員、石川（永）委員、大佛委員、清水委員、
富川委員、原委員 ※石川（篤）委員は都合により欠席

2 議題

東京都の徒歩帰宅シミュレーションについて

3 議事要旨

事務局から議題について説明した上で、各委員より下記の通り意見が出された。

<徒歩帰宅シミュレーションについて>

- シナリオ設定からシミュレーション結果まで整理できていると思う。全体的には、エビデンスとしてもう少しブラッシュアップした方が良い。
- シミュレーション結果を受け、どう政策に持っていくかは議論が必要。空間的に混雑の偏りがあるということが課題。
- シミュレーションで想定されている体力限界値とその後の行動の設定方法に関してはいくらか確認が必要ではないか。

<今後の取組の方向性について>

- シミュレーション結果からもう少し具体的に言えることもある。情報の伝え方だけではなく、それぞれの被災者の状況を想定して、すべての被災者が情報にアクセスできるようにすることが大事。
- 都民に啓発する方法として、関係者にどう参画してもらうかを考える必要がある。そもそも一斉帰宅の危険性について知ってもらうことが重要。例えば企業では社員だけでなく、社員の家族に対しても伝えることも大切だ。
- 帰宅困難者対策条例の認知度も低い状況なので、取組をいかに早く、どういった形で周知していくかが課題。
- 災害時は色々な要素が複合的に混ざり合うので、このシミュレーションだけで政策を決めるのではなく、様々な影響も想定しておくべきだと思う。